

図書館だより

本で世界を広げよう！



令和8年5月
大洲農業高校図書館

＜大農図書館の使い方＞

- * 昼休みと放課後（16時45分まで）利用できます。品揃え豊富な図書館の本を自由に読みましょう。
- * 気になる本は、ぜひ借りてじっくり読んでください。自分の貸し出しカードに必要事項を記入し、カードと本をカウンターにいる図書委員に出して手続きをしてください。本は1週間借りられます。
- * 「朝読書で読む本がない。」という人、ぜひ図書館に来てください。課題研究や実習の調べ物にも、図書館の本が力を発揮します。
- * 借りた本は、返却日（貸出日から1週間後）までに図書館に持参し、返却手続きを行いましょう。

＜図書放送委員会の紹介＞（太字の委員が主に図書の貸し出しを担当しています）

（2-1）松田 規来 森岡 夏美 （2-2）**沼田 心** 三瀬 来琥
（3-1）水田 倖大 **寺内 蒼真** （3-2）**高地 香穂** **中川 夢叶**
（教 員）大田 友里 中川 嘉之

＜今年度の目標＞ 「図書館に行こう！本を借りよう！！」

昨年度、一人あたりの平均貸出冊数は、2.5冊でした。皆さんからさらに愛される図書館を目指して、今年度も頑張ります。図書館を上手に活用しましょう。

＜本の紹介＞

図書館司書の大田先生より、おすすめの本の紹介です。ぜひ読んでみてください！



★ エピクロスの処方箋 夏川草介 著

京都で内科医として勤務している雄町哲郎。様々な病状や事情を持つ患者を通して、幸福とは何か、を問い続けます。タイトルのエピクロスとは古代ギリシャの哲学者です。哲学の言葉が出てきますが、難しい医学モノではありません。こんなお医者さんが主治医だったらいいのに！

そう思える物語です。作中、主人公が好んで食べる京都に実在する銘菓も登場します。美味しそうで、いつか食べてみたいと思うこと間違いなしです。

★ 赤と青のガウン 彬子女王 著

皇室の方が書いた本、と聞くと堅苦しくて難しいお話しだと思いませんか？

全くそんなことはありません。5年に及ぶオックスフォード大学留学時の様々な珍事件や出会い、博士号取得までの苦楽が綴られ、彬子女王殿下の気さくな人柄にも触れることができる一冊でした。3月にも漫画になった大人気エッセイです。皇室の方の教養が深いのは努力あってこそなんだと改めて思いました・・・

★ 成瀬は都を駆け抜ける 宮島未奈 著

成瀬シリーズ第3弾、そして完結編。

ミステリーが好きな私ですが、このシリーズにはハマりました。成瀬の己を貫く性格、その姿勢がたまらなく面白いんです。京大に入学した成瀬がなぜか入ることになった達磨（だるま）研究会。新しい友人たちとの出会い、びわ湖大津観光大使・・・と成瀬が行くところには人が集まり人を呼ぶ！止まらない面白さです。

